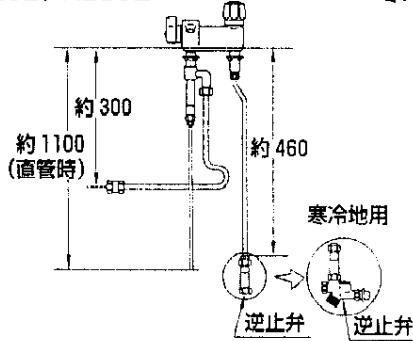


湯ぽっと用湯水混合栓施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

寸法図

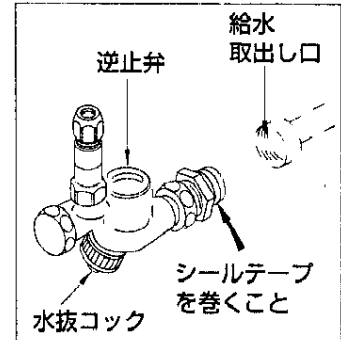
- ・ TL 326 AE、TL 326 AEG 一般地用
- ・ TL 326 AEUZ、AEGUZ 寒冷地用



寒冷地用

(湯水混合栓にTL326AEUZ、TL326AEGUZ使用の場合) 付属の逆止弁を給水取出し口にねじ込んでください。

このとき、水抜コックが下になるようにしてください。



シールテープを巻くこと

水抜コック

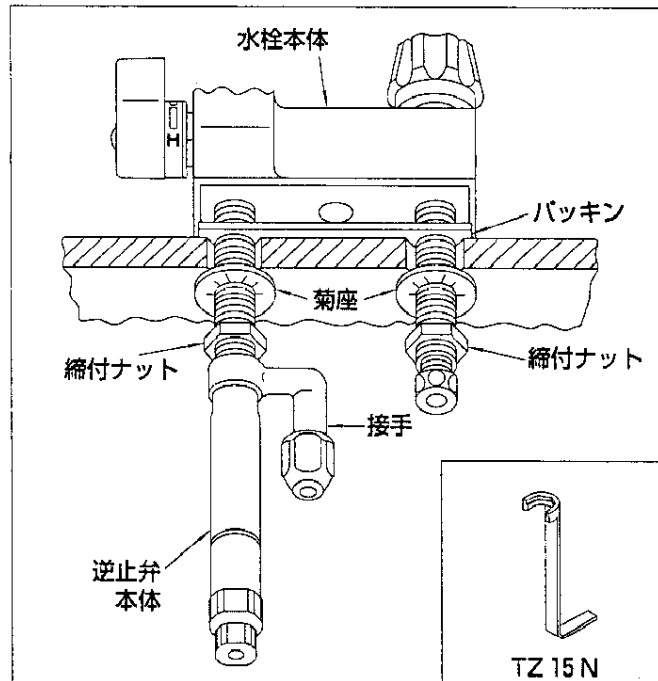
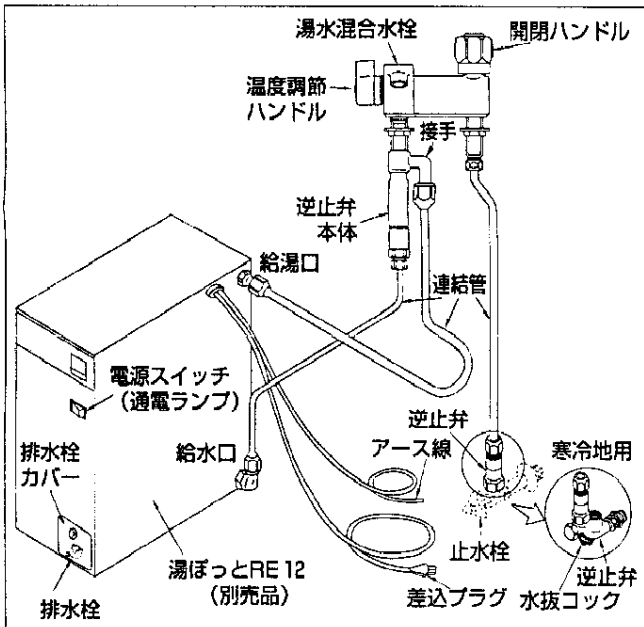
2. 本体の取付け

(1) 本体を洗面器の水栓取付穴に入れ、菊座を入れ締付ナットを十分に締め付けてください。

(2) 湯側の脚部に接手を入れ逆止弁本体を十分に締め付けてください。

※ 本体、逆止弁本体の締め付けは別売りの専用工具 (TZ 15 N) をご利用ください。

取付完了図



取付方法

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

1. 逆止弁の取付け

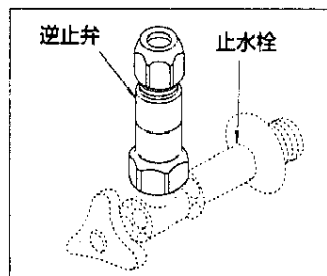
一般地用

(湯水混合栓にTL326AE、AEG使用の場合)

付属の逆止弁を止水栓にねじ込んでください。

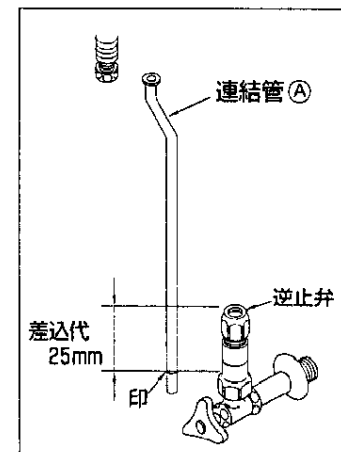
(止水栓は別途ご用意ください。)

※ 水栓、電気温水器へごみが入らないよう、フィルター付止水栓のご使用をおすすめします。

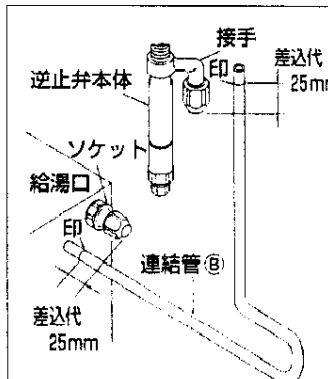


3. 連結管の寸法合わせ

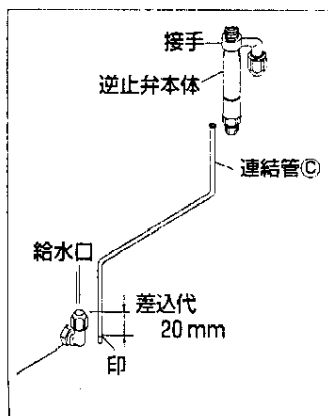
- 連結管④は逆止弁に接続します。必要な長さをあたり印を付けてください。このとき差込代を25mm確保してください。



- 温水器の給湯口にソケットをねじ込んでください。連結管⑥は温水器の給湯口に接続します。必要な長さをあたり印を付けてください。このとき給湯口側本体側に差込代を25mm確保してください。



- 連結管⑦は温水器の給水口に接続します。必要な長さをあたり印を付けてください。このとき差込代を20mm確保してください。

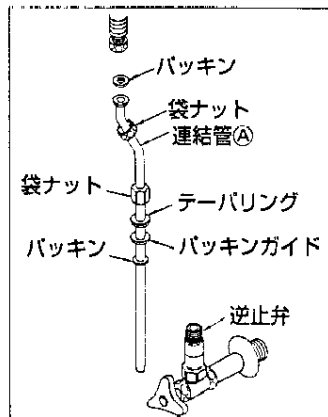


4. 連結管の切断

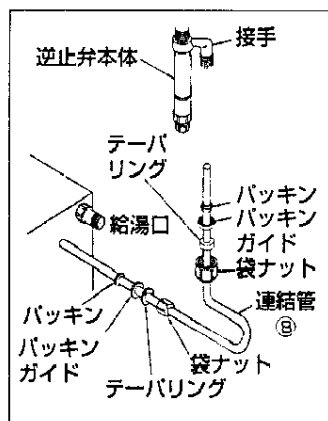
前項で印をした箇所を切断してください。切断の際のバリや切粉は十分取除いてください。

5. 温水器との接続

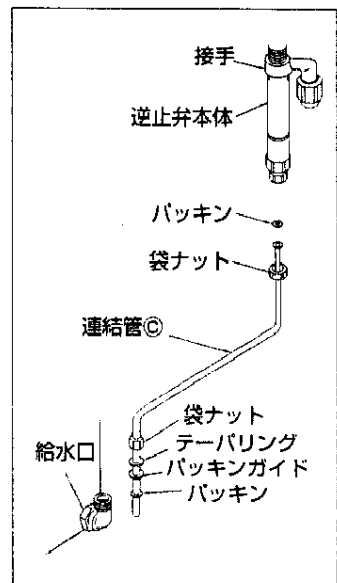
- (1) 連結管⑧に本体の袋ナットを通し逆止弁の袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンを入れて逆止弁のストッパーに当たるまで差込んでください。両袋ナットを十分に締め付けてください。



- (2) 連結管⑨に本体、ソケットの袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンを入れて本体、ソケットのストッパーに当たるまで差込んでください。両袋ナットを十分に締め付けてください。連結管は、必ず上り勾配になるようにしてください。

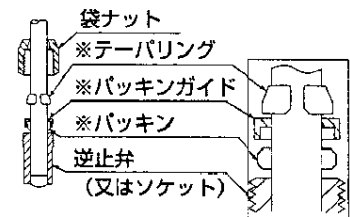


- (3) 連結管⑩に逆止弁本体の袋ナットを通し給水口の袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンを入れて給水口のストッパーに当たるまで差込んでください。両袋ナットを十分に締め付けてください。



<テーパリング接続方法>

- ※テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番・向きをまちがえないでください。



工事の際、連結管をつぶさないように注意してください。

温水器への通水

- (1) 止水栓を開いてください。
- (2) 温度調節ハンドルをH側一杯に回して開閉ハンドルを開き5分程度お待ちください。吐水口から水が連続して出始めるとタンクが満水になったことを示します。

凍結防止工事

湯ぼつと本体は電源スイッチを「入」しておくことで凍結を防止できますが、水道配管や湯水混合栓の凍結を防止するため必ず次の処置をしてください。

1. 水道配管やバルブ類には保温材を巻いてください。寒冷地では、電熱ヒーターを巻くか、配管内の水が抜けるように別途水抜き設備を設けてください。
2. 水抜きによる凍結防止の場合は、必ず寒冷地用湯水混合栓(TL 326 AEUZ, TL 326 AEGUZ) をご使用ください。寒冷地用でない、湯水混合栓及び、配管内の水抜きができません。
3. 湯水混合栓の接続管には、地域の実情に応じて、保温材又は、電熱ヒーターを巻いてください。